

http://www

# 中小企業の IT を考える

## 自己紹介 麻田 貴平 (Takahira Asada)

### INSIDE THIS NOTE

- 1 自己紹介
- 2 システムで起こる問題とは
- 3 日常業務をとめない！
- 4 システムポリシーの重要性
- 5 最後は人である

出身地：東京都世田谷区 在米暦：23年

15歳の時、渡米、単身留学する。冒険家 三浦雄一郎さんの紹介でユタ州、ソルトレイクシティの高校に入学し、オリンピックスキーヤーを目指す。

高校卒業後、カリフォルニア州に移る。U.S.C. (南カリフォルニア大学)にて経済学を専攻、卒業。

在学中、車、家具等の輸出を手がける会社を設立。

大学卒業と同時に日本に帰国し、青山監査法人プライスウォーターハウス (現プライスウォーターハウスクーパ) に入社。米企業の日本進出などを、コンサルタントとして手がける。

東京のコンクリートジャングルに飽き、又、自国日本をもっと知らなければと思い、長距離トラック運転手となり全国をまわる。

遊びで行った沖縄にはまり移り住む。ハーレーダビットソン那覇代理店に勤務。同時にスキューバダイビングのインストラクターをする。

東京に戻り、IT関連企業 InspireNet に就職。原子炉の安全システム構築にプログラマーとして携わる。

その後、伊藤忠商事にて企業資源管理、企業における製造、物流、流通、在庫、受発注、請求および会計を管理する ERP (企業資源計画;Enterprise Resource Planning) JDEdwards、SAP の導入コンサルタントとして携わる。

2000年、公認会計士を目指し再度渡米。公認会計士の道は現在保留…。太田昭和の米国法人にて、日系企業の ISO 取得コンサルタント、国際会計基準、連結決済のコンサルタントとして携わる。

JETRO (日本貿易振興機構) の要請でシリコンバレー (サンノゼ) にて日系 IT 企業の現地法人設立、運営、マネージメントとして携わる。

2008年、子供を育てるロケーションはここだと決めていたサンディエゴに移り、SD Take One Systems, Inc. を立ち上げ、独立。

## システム上で起こる問題とは？

### Critical Issue: Using Technology

“会社がおおきくなってからシステムをつくるのではなく、小さいころからしっかりしたシステムを作ったから京セラは大きくなれたし、大きくなってでも大きな問題が起きなかった。”

稲盛和夫 名言集

- 1) 設備の機械的不具合・トラブル例
  - a) PC が購入当初に比べ、かなりパフォーマンスが落ちた。又は起動しなくなった。
  - b) 機器（PC）破損が原因で起こる、顧客データ、業務データ、会計データの損失。
  - c) 周辺機器が壊れる。（店舗 POS、Network 機器、コピー機、レシートプリンター）
  - d) ウイルス感染に気づかず、そのまま PC を使い続け、機密データが盗まれたり、迷惑メールを知らないうちに電子メールの住所録にある顧客リスト宛に配信してしまった。
- 2) 人的ミス・トラブル例
  - a) 従業員が間違った操作で業務データを消してしまった。
  - b) 従業員が会社の PC を個人目的（無料音楽ダウンロード等）で使用し、結果ウイルス等に感染する。
  - c) 携帯端末(ラップトップ)/スマートフォン(iPhone)等が出先などで盗まれ、顧客データ流出/個人情報漏えいが発生。
  - d) 店舗や業務の現場で物の紛失、お金の紛失が従業員の不注意で起きる。又、レジのお金が業務終了時にあわない。

## 日常業務をとめない！

### Time is money

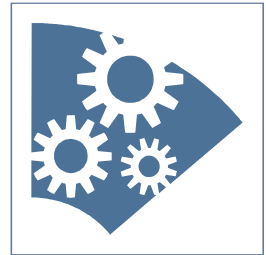
1. システムは機械、明日にでも壊れるという意識でつきあう。
2. システム 2 重化ルール的重要性を理解し、実際に稼動してみる。
3. 問題解決にたどり着くまでの解決ルートを明確にする（修理依頼のコンタクトリスト、部品調達ベンダーリストのリストアップ）。
4. OfficeDepot で売っている単純なレシートの出るレジを用意する。
5. レシートプリンター/リボンなどは多めに用意しておく。
6. 取引相手には“言った” “言わない”を無くす為に、業務はメールでの対応を基本として、必要であれば電話連絡も同時にする。
7. PowerUser は最低でも年 2 回、普通の User は年 1 回、専門家によるメンテナンスとウイルス検査を行う。費用は一回 90 ドルから 200 ドルもあれば十分。



## システムポリシー(ルール作り)の重要性

### Benefit of Information Technology Rules

1. “会社の PC や IT 関連機器は全て会社の持ち物である”を定着させる。
2. 業務 2 重化のルールを定着させる。  
1 人の担当が行う業務を他が代わってできるか？
3. 情報アクセスに対するルール（アクセスレベルを決める）。
4. 問題解決にたどり着くまでの解決ルートを明確にする／修理依頼のコンタクトリスト、部品調達ベンダーリストのリストアップ。
5. 防犯カメラ導入にて“やった “” やらない “などの人的摩擦を軽減する。
6. 乱暴にラップトップなどを扱う従業員には、壊したら 2 個目は自己負担してもらう。
7. データの管理は 1 人 1 人の従業員に役割分担として義務つける。



## 最後は人である

### Machine work for us, not other way around

- 1.WEB の重要性とおそろしさ。
  - ホームページは常に更新を心がける。  
デザインが古ければビジネスも古い。
  - 特に敏感な価格調整をホームページで頻繁にする。  
輸出入業者は為替変動に敏感に更新。  
小売業者は税率変動にミスが無いように。（レジ/レシート設定）
  - コミュニティーサイト・レビューサイトなどへのお客様からの書き込みを注意して読み、問題があれば早急に取り下げなどの処置を行う。  
WEB 上での情報はよければ最高、悪ければビジネスを滅ぼす。
- 2.最低限、電子メール処理はきちんとおこなう。
  - トрендとして、メールだけは誰でも失礼のないように、十分に使いこなしましょう。
- 3.昔ながらの業務を実行してみる。
  - 手紙の効果を再確認。足で歩く営業をし、顧客の顔を見て商談。
- 4.大企業の小回りできない部分で中小企業は勝負。
  - カスタマーサービスや電話の対応はなるべくオートメーションをやめ、人的におこなう。電子メールや広告メールに頼り過ぎない。
- 5.お客様に得をしてもらう努力をする。そこから信用が生まれる。
  - 少しでも安く、早く、的確にサービスを提供するためのシステムである。そしてそれを継続すると尊敬しあえるビジネス関係が確立する。それでこそ、システムを活用し、運用しているといえる。

---

“インターネットやパソコンは、知識や情報を伝えることに偏っている。私はパソコンを人間性あふれる存在にし、人々が自分の感情を、より豊かに表現する手伝いをしたい。”

スティーブジョブス 名言集

---